

凌雲の会の石田江利子です。

議長選挙にあたり、決意を申し上げます。

先ずは、先日、トルコ南東部を震源とする大地震が発生し、甚大な被害が生じています。犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

日本でも近年、大規模な自然災害などが起こり、必要なことは、市民の命を守るというゆるぎない信念、そして、このような災害に対しの先を見据えた政策に他ならないと感じています。改めて、先人たちが築き上げた基盤の上に、より豊かで光り輝く焼津市を創り上げるということの使命を強く感じています。

そして、ここ数年、新型コロナウイルス感染症への対応に翻弄される状況が続いてきましたが、これからは必要な感染防止対策を実施しながらも、これまで以上に地域の活力を生かし、積極的にまちづくりをすすめる必要もあります。

また、人口減少・少子高齢化の進行や、Society5.0を見据えたデジタル化の急速な進展などにより、社会が変化し、それに伴い、市民の行動、意識、価値観も大きく変化しています。しかし、私たちが生きる今も、そして、100年先の未来も、その主役は常に「人」です。だからこそ、この焼津市で一人ひとりが輝くまちづくりを目指していかなければなりません。世の中のスピ

ードは速く、私たちを取り巻く環境も目まぐるしく変化し続けています。しかし、誰もが夢や希望を抱き、自己実現を追求できる社会にすることが大切です。100年先も市民が安心して暮らすことができる持続可能なまちを目指し、新たな種を蒔き、そして大きな花を開かせていく。この「未来への投資」を、今回、選挙によって選ばれた私たちは、二元代表制の下、役割と捉え、この責務を果たすことに注力しなければいけないと感じています。いまこそ、私たちがこの焼津市に恩返しをするときです！

私は、平成27年に初当選させて頂いてからの8年間、各委員会に席を置き、監査2年、広報特別委員会委員長、そして副議長を経験する機会を頂きました。この間の運営や活動に対して皆様のご協力を頂きましたことに、改めまして感謝申し上げます。有難うございました。

この19期におきましても、引き続き議員定数の見直し、また開かれた議会を目指し、議論を重ねる必要があります。

私は、これからこの市議会において、女性活躍のフラッグシップとして存在し、リーダーシップを發揮し、女性活躍の取り組みも積極的に進めていきます。そして、この取り組みを進めた先に、市民の政治への関心を向上させることもできると感じます。女性議長の存在と取り組みが、多くの女性が様々なことにチャレンジする刺激と契機になれば、これほど嬉しいことはありません。そして女性議員が増加し、さらに女性議長が増加することを願い

ます。

今回、所信表明の機会を頂き、私は、使命感をもって「市民の生活及び福祉の向上」と「市政の発展」に尽力すると決意致しました。

その為に、議員の皆さんお一人お一人が最大限の力を發揮し、経験と英知を結集して、さまざまな社会課題の解決ができる環境づくりを私の最大の責務と捉えて、誠心誠意努めて参ります。

議員各位の御協力いただきながら、公平・公正な議会運営に努めるとともに、市民から信頼が得られるよう全力で取り組む所存です。

議員各位のご賛同を心からお願い申し上げまして、私の所信表明といたします。御清聴ありがとうございました。